

# 平成27年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号 20

## I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。	
2 評価する領域・分野	◇学校経営	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	池田高校は、揖斐郡を中心に約9割の生徒が通学1時間以内、10km圏内から通うまさに地域の高校である。生徒は穏和な生徒が多く、保護者も学校の教育活動に協力的である。地域では、「福祉の町づくり」を進める池田町や関係教育機関との連携を深めている。 保護者・生徒対象のアンケート（7月実施）では、「学校の教育方針や指導内容を保護者（地域）に分かりやすく伝えている」と答えた保護者が過去3年間で69%→82%→81%と推移、「本校ではボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している」と答えた生徒が65%→69%→75%と増加、また「本校に入学できてよかったと思っている」と回答した生徒が約9割となっている。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇E S D（持続可能な開発のための教育）の推進。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・企画委員会、三部長＋学年主任会議、各種委員会及び職員会議	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 学びの挑戦 （授業改善、少人数指導、進路希望に合わせた多様な科目選択、キャリア教育等） (2) 部活動・学校行事・ボランティア活動の挑戦 (3) ユネスコスクール(ESD)への挑戦 「Global Welfare（地域・国際社会の中でよりよく生きる）」をキーワードに、「福祉」、「国際」、「環境」を3つの柱としてE S D（持続可能な開発のための教育）を推進	(1) 生徒・保護者等を対象とするアンケート結果、進学や就職等の進路状況 (2) 生徒対象の生活アンケート（迷惑調査）結果、部活動の成績や学校行事での生徒の活動状況、地域行事への参加状況 (3) 学校評議員会、学校関係者評価委員会による評価、地域からの評価、教育研究論文等への評価	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
(1) 学びの挑戦 <ul style="list-style-type: none"> <li>英数国における少人数指導、生徒の興味関心や進路希望に応じた多様な選択科目の設定。</li> <li>習熟度の高い生徒への放課後補習や土曜補習、成績不振者への補充指導等、生徒の実態に応じた学習支援。</li> <li>職業別ガイダンス、学部・学科別ガイダンス、学校別ガイダンス、インターンシップ等のキャリア教育の充実。</li> </ul> (2) 部活動・学校行事・ボランティア活動の挑戦 <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会の主体的な活動や、球技大会、文化祭、体育大会、版画大会等の学校行事の活性化。</li> <li>外部講師等による指導の充実、グラウンド夜間照明設置、備品の整備等、部活動活性化のための環境整備。</li> </ul> (3) ユネスコスクールへの挑戦 <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜県公立高校初の「ユネスコスクール」への承認</li> <li>池田町及び池田町教育委員会、保育園、小中学校、特別支援学校、福祉系専門学校や福祉施設と連携した福祉教育、国際教育、環境教育の推進。</li> <li>生徒会、家庭クラブ、ボランティア会、MSリーダーズ、科学部等の生徒の活躍によるE S Dの推進。</li> </ul>	①一人一人の生徒の個に応じた指導と進路実現ができたか  ②所属意識を高め、生徒の主体的活動の実現ができたか。  ③地域と連携しながら池田高校の方向性を明確にし、行動することができたか。	A <input checked="" type="checkbox"/> B C D  A <input checked="" type="checkbox"/> B C D  <input checked="" type="checkbox"/> A B C D

11 成 果 ・ 課 題	<p>(成果) ○学校の教育目標や教育方針をE S Dの視点で見直すとともに、地域の福祉系専門学校との連携による専門科目「社会福祉基礎」の導入やボランティア活動の充実、池田中学校と合同のニュージーランド海外研修、地域の保存会と共同でハリヨの保護活動を行なう等、地域と連携しながら、ユネスコスクールとして、具体的な教育活動を展開することができた。</p> <p>(課題) ▲3年間を見通したE S Dの教育計画の作成と推進体制の確立。 ▲ユネスコスクールに申請中の池田中学校とのさらなる連携、池田町の「地方創生プロジェクト」との連携による地域の持続可能な発展への貢献。</p>	<p>総 合 評 価</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A   B   C   D</p>
-----------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------

12 来年度に向けての改善方策案

岐阜県の公立高校初のユネスコスクールであり、さらには中高連携のユネスコスクールとして、地域の持続可能な発展のために、「福祉教育」、「国際理解教育」、「環境教育」のさらなる充実が期待されている。各分野の学びを、生徒・保護者・教職員の共通理解のもと、学校の教育目標及び教育課程の中で明確に位置づけるとともに、教材や教育手法の研究開発、外部機関との協力関係を築き、高校3年間での具体的な教育計画を確立する必要がある。なお、E S Dの推進にあたっては、生徒が互いに意見交換しながら自ら課題を見つけ解決していく「アクティブラーニング」の手法を取り入れたり、地域を支える社会人として必要な「キャリア教育」を地方創生プロジェクトを開始した池田町と連携しながら積極的に取り組んでいきたい。

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成28年2月12日

### 【意見・要望・評価等】

- 保護者・生徒対象のアンケートで、「本校に入学できて良かった。」と回答した生徒が、9割いたことから学校経営の順調な様子が伺えます。
- 社会状況を見極め、最適な学習環境を作り出そうと高い目標と手堅い工夫を重ねている。特にESDへの挑戦とその成果は、今後の高校教育の方向の1つを示している。
- 地域を大切にしていこうという考え方はとても素晴らしいと思いますので、多方面に幅広く認知されるようにPRして欲しいです。
- ユネスコスクール承認おめでとうございます。